

経済日誌2008年9月

1. モロッコ国内経済

(1)指標等

①ビジネスの行い易さランキング¹

・世界銀行のレポート「Doing Business 2009」によれば、モロッコのランキングは世界181か国中128位と昨年と比べワンランクアップ。

- ・モロッコ:129位→128位
- ・チュニジア:81位→73位
- ・アルジェリア:130位→132位
- ・エジプト:125位→114位
- ・トルコ:60位→59位

②モロッコの汚職指数²

・世界銀行のレポート「Doing Business 2009」によると、180か国中80位と昨年の72位と比べて後退。

③2008年8月物価上昇率³

- ・物価上昇率:前年同月比 4.8%増
 - 食料品:前年同月比 8.3%増
 - 非食料品:前年同月比 1.8%増

④2008年の物価上昇率予測⁴

- ・モロッコ中央銀行は2008年の物価上昇率予測値を2.7%から3.9%に修正
- ・2008年第3四半期の物価上昇率を年率4.6%、第4四半期の物価上昇率を年率4.2%と予測。

⑤モロッコ中央銀行による主要政策金利引き上げ⁵

- ・無担保コール1週間物の金利を3.25%から3.5%に引き上げ
- ・目的:インフレ抑制、拡大を続ける信用購買(ローン)の抑制等

¹ エコノミスト(9月12日)

² エコノミスト(9月24日)

³ エコノミスト(9月22日)

⁴ エコノミスト(9月29日)

⁵ エコノマップ(9月24日、9月26日)、エコノミスト(9月29日)

(2)産業・エネルギー

①モロッコ製造自動車Loganエジプトへ輸出⁶

- ・8月28日カイロにて開催されたアガディール協定メンバー国貿易大臣会合に関するコメントとして、モロッコ・マアズーズ貿易大臣は「モロッコとエジプトは、モロッコ製造自動車 Logan のエジプトへの輸出につき合意。今年10月より輸出開始。」と発表。

②スペイン系Technicas Reunidas社がSamir社と契約⁷

- ・スペイン系 Technicas Reunidas 社が、Samir 社のモハマディア石油精製蒸留装置の更新に係る調査・基本設計を、1700万ユーロで受注。
- ・更新後の精製キャパシティーは400万トン／年
- ・更新に係る投資額は13億DH、更新後の装置稼働開始は2011年を見込む

③モロッコ燐鉱石公社の2009年の投資予定額⁸

- ・投資予定額:140億DH(うち20億DHは福利厚生に充当)
- ・目的:生産設備の更新等

④2007年モロッコへの海外直接投資額(UNCTAD報告書)⁹

- ・UNCTAD報告書によれば、2007年モロッコへの海外直接投資額は25.7億ドル(前年は24億ドル)
- ・海外直接投資先としてモロッコはマグレブ諸国で第1位、アフリカ諸国の中で第4位。
- ・主要投資国:
 - 欧州諸国13か国:投資全体の73.5%
 - アラブ諸国:投資全体の19.3%(前年は9.9%)
 - (在外モロッコ人からの投資は、不動産、観光、外食産業分野を中心に7億DH)
- ・主要投資分野:
 - 観光:120億 DH
 - 不動産:70億 DH
 - 工業:30億 DH

⑤再生エネルギー開発¹⁰

- ・モロッコ電力公社(ONE)は「5年間で250億DHを再生エネルギー開発に投資する(民間投資を含む)」と発表。

⁶ エコノマップ(9月1日)

⁷ エコノミスト(9月19日)

⁸ エコノミスト(9月22日)

⁹ エコノミスト(9月26日)

¹⁰ エコノミスト(9月30日)、電力公社公表資料("THE CHOUROUK INITIATIVE" 500MW SOLAR BY 2015)

- ・2012年までに風力発電能力を1000MWまで高める。
- ・2015年までに太陽光発電能力を500MWまで高める(CHOUROUK イニシアティブ)
 - － 家庭用等小規模太陽光発電、及び、IPP(独立系発電事業)の拡大
 - － モロッコの日照時間は3,000時間/年と長く、太陽光発電に適している

(3)その他

①2007年不動産分野関連データ¹¹

- ・雇用人数:839,000人(前年:790,000人)
- ・建築認可数:55,200件(前年:51,889件)
- ・建築認可住居戸数:117,400戸(前年:110,816戸)

②夏休みを利用した在外モロッコ人の一時帰国者¹²

- ・2008年5月1日から9月6日までの一時帰国者数は209万人(前年比9%増)

③法人税納税の電子化¹³

- ・納税申告および納税がネットで可能
- ・電子化開始日:2008年9月1日
- ・対象企業:売上高が5千万DH以上

④スペインのいちご生産業者がモロッコ人を雇用¹⁴

- ・2008-2009年の収穫期にスペイン南部 Huelva 地方のいちご収穫に従事する短期外国人労働者は6,600人を見込む(うち、2,300人はモロッコ人を見込む)。

¹¹ エコノミスト(9月22日)

¹² エコノマップ(9月9日)

¹³ エコノミスト(9月22日)

¹⁴ エコノマップ(9月22日)

2. 諸外国等との関係

(1) 外国政府等との関係

① モロッコ・チュニジア間協力協定¹⁵

三つの協定に署名

- ・二国間農業技術センター間協力協定
- ・チュニジア電気機械技術センターとモロッコ電子・電気・機械・鉱業研究所間協力協定
- ・チュニジア繊維技術センターとモロッコ衣料・繊維技術センター間協力協定

(2) 外国企業との関係

① ルノー・日産タンジェ工場建設の基本設計受注業者¹⁶

- ・フランス経済誌「Les Echos」によると、仏系 Iosis 社が同工場建設の基本設計を受注
- ・工場面積: 47万5千m²

(3) 経済協力

① アメリカ商業開発庁(USTDA)がモロッコ水道公社に無償資金協力¹⁷

- ・援助額: 387,876ドル
- ・地理情報システムの構築に充当(国全体の下水道配管図の情報処理に利用)

② アメリカ商業開発庁(USTDA)がモロッコ炭化水素・鉱山公社に無償資金協力¹⁸

- ・援助額: 331.581ドル
- ・データ管理、評価、マーケティングに関する調査研究プロジェクトに充当

③ 米国(MCC:Millenium Challenge Corporation)による経済協力¹⁹

・昨年8月に、MCCとモロッコ政府との間で締結された総額6億9,750万ドル(=約840億円)の対モロッコ経済協力協定(無償資金協力)が9月22日に発効。

- ・農業生産高向上プロジェクト(約3億ドル)
 - ・漁村開発支援(約1.16億ドル)
 - ・工芸産業支援(約1.12億ドル)
 - ・中小企業等向け融資支援(約4,600万ドル)
- 等

¹⁵ エコノマップ(9月15日)

¹⁶ エコノマップ(9月8日)

¹⁷ エコノマップ(9月1日)

¹⁸ エコノマップ(9月18日)

¹⁹ エコノマップ(9月19日)